

平成31年度 スタート！

流山市立西初石中学校長に4月に着任しました 浦沢 雄一（うらさわ ゆういち）です。柏市立藤心小学校より参りました。以前は県立流山おおたかの森高校教頭を務めておりました。縁のある西初石地区にお世話になることができ、嬉しく思います。地域の子供たちの未来のために、力を尽くして参ります。よろしくお願いいたします。

学校教育目標 「自立 貢献」

【入学式 校長式辞より抜粋】

君たちが成人となるのは、十八歳です。六年後には「大人」として社会から扱われるのです。小学校時代があっという間に過ぎたように、その時はすぐ訪れます。「大人」とは「自立し社会に貢献できる人」のことを言います。「自立」と「貢献」の2つについて話します。

「自立」とは「自分の行いに責任を持ち、自分で判断し、行動していくこと」です。そのためには、大いに学び、様々な経験を重ねることが必要です。学校は無論のこと、家庭や地域で、学びや経験を重ねます。そこで獲得した知識や技能をフルに活用し、自分はどのようにしたらよいのかをよく考え、判断して行動していくのです。よりよい判断や行動ができるようになるには、振り返りが大切です。「自立」を目指してこれからの時代を生きてほしいです。

「貢献」とは「自分以外の人や社会に自分の力を役立てること」を言います。君たちは、たくさんの力を身につけてきています。これからは、その力を周囲のために使う姿勢を身につけてほしいと思います。まずは、自分の身近な家族や友達のために力を使っていくとよいと思います。

*地域の皆様へ

今の子供たちは、平均寿命 100 歳以上とされています。また、人口減少はさらに進み、日本の人口は彼らが高齢になる頃には、今の 1/3 程度になるとの予測もあります。難しい社会です。学校・家庭・地域・行政・企業すべてが力を合わせなければならないと思っています。学校は、今以上に「開かれた学校づくり」を目指します。是非とも、皆様と力を合わせて「子供を育て」「地域を育て」「未来を創る」ことに取り組んでいきたいと思っています。どうぞ、よろしくお願いいたします。